

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2013
June

No. 135

6



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 6

営農総合支援センター

- 野菜の生産拡大のための取り組み支援
- JA営農経済渉外活動の導入・実践にともなう総合的な支援
- 担い手支援のための取り組み
- 食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良ET卵産子の活用促進)

米麦特産課

- こんにゃく荒粉・精粉集荷販売推進 (入札の実施)
- 夏蚕婦立指導推進
- 椎茸等ほだ場診断及び活着診断

園芸部

園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計ブリックスナイン販売 (6/末日迄)
- 共計生梅販売 (6/末日迄)
- 共計赤じそ販売 (7/上旬迄)
- 共計県統一規格きゅうり販売 (7/末日迄)
- 共計バンダム販売 (7/末日迄)
- 共計にがうり販売 (9/末日迄)

販売促進課

- 春夏野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

園芸資材課

- 青果物用予冷库推進 (サンヨー)
- 夏用出荷資材予約・当用推進
(枝豆・みょうが・おくら・なす・ほうれん草等)
- AKライナー・ノンステーブル段ボールへの切替推進

- ハウス更新用資材戸別推進 (農ビ・農ポリ等)
- ネポン暖房機第1期予約推進 (4月～6月)
- 廃プラスチック適正処理推進
- 夏秋蒔用種子推進

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
 - ☆花木流通センター
6月7日(金)～10日(月) 園芸さわやかフェア
 - ☆愛菜館
6月8日(土) 19日(水) 28日(金)
8の日 お米特売
- 造園工事推進

肥料農薬課

- 夏秋肥料予約推進
- セルフブレンド推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- 水稻除草剤当用推進

農業機械課

- アグリマシンフェア2013開催
7月13日(土)～14日(日)

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 生花利用拡大運動推進 (周年)
- アンデスメロン推進 (6月)
- 「上州もみ切りうどん」・
「四季のめん詰合せ」推進 (6月～7月)
- 高崎ハムお中元ギフト・
関連商品推進 (6月～8月)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

ガス課

- 平成25年度ガス器具特別推進
- 平成25年度第1回クミアイガス器具推進



JAアシストホールまえばし 第1回カラオケ大会
(4.27 JAアシストホールまえばし)

■心をこめて70名が熱唱！

4月27日（土）、JAアシストホールまえばしにて、「第1回カラオケ大会」が開催されました。大会には70名が参加し、自慢の歌声を披露しました。審査員による厳正な審査の結果、上位6名が決定。トロフィーが授与されました。JAアシストホールまえばしでは、今後も様々なイベントを開催し、組合員の方々へ地域交流の場を提供してまいります。



TPP学習会
(5.7 JAビル)

■今こそ考えようTPP

5月7日（火）、JAビル大ホールにおいて「TPP学習会」が開催され、当県本部の役職員が参加しました。講師であるJA群馬中央会農業対策部の田村氏は、「JAグループ全体で取り組まなければならない問題である。皆さんも家族間でTPPについての話し合いをもち、国民的な議論をして欲しい。」と述べ、TPPに関する情勢について説明を行いました。



コンプライアンス推進全体職員研修会
(5.7 JAビル)

■一人一人の意識重要

コンプライアンス推進部は、5月7日（火）、職員のコンプライアンス意識向上を目的とした「コンプライアンス推進全体職員研修会」を開催しました。挨拶に立った須藤本部長は、「全職員が一丸となって風通しの良い職場づくりに取り組んで欲しい。」と話し、研修会では、平成25年度コンプライアンス推進・リスク管理実施計画についての説明及び交通運輸10則の唱和が行われました。



平成25年度 土壌・肥料技術研修会
(5.23 JA東日本くみあい飼料(株)
大間々肥料工場)

■知識習得に真剣な眼差し

5月23日（木）、土壌診断センターでは、肥料技術の向上に繋がる土壌診断の普及と、適正肥料による系統肥料事業の取り扱い拡大を目的とした「平成25年度 土壌・肥料技術研修会」を開催し、各JAの営農経済渉外担当者・営農指導員・購買担当者等が参加しました。研修会では、土壌・肥料技術や土壌診断項目の講習や、肥料工場見学、施肥設計法の研修などが行われました。



平成25年度 第1回TAC活動研修会（初級）
（5.24 JAぐんま研修センター）



・第7回JAグループ群馬農産物検査協議会 通常総会
（5.24 JAビル）
・群馬県農協穀類乾燥調製(貯蔵)施設協議会第22回通常総会
（5.29 JAビル）

■コミュニケーション力の構築・強化に向けて

営農総合支援センターでは、5月24日（金）、新任担当者を対象とした「平成25年度 第1回 TAC活動研修会（初級）」を開催しました。研修会には、10JA17名が参加。前半は、TAC活動の基本についての説明が行われ、後半は、「担い手対応スキルアップ研修」と題しグループ討議等を通して「聴く力」「話す力」を向上させるノウハウを学びました。

■運営向上と改善を図る

5月24日（金）、「第7回JAグループ群馬農産物検査協議会通常総会」が、5月29日（水）、「群馬県農協穀類乾燥調製(貯蔵)施設協議会第22回通常総会」がそれぞれ開催され、上程された議案は全て可決承認されました。総会終了後には、第6回大規模乾燥調製施設運営管理・環境整備コンクールの表彰が行われ、優秀な成績を収めたJAに対し、賞状と記念品が授与されました。



第25回ぐんまこんにゃく祭り
（5.26 ららん藤岡）



全農杯 平成25年度全日本卓球選手権大会 群馬県予選
（5.26 前橋市民体育館）

■今年も盛況！こんにゃくの魅力を再発見

5月29日（水）の「こんにゃくの日」に合わせ、5月26日（日）、「第25回ぐんまこんにゃく祭り」が開催されました。会場では、本県の特産物であるこんにゃくの消費拡大を図るべく、試食販売・手作り体験・資料展示・ステージイベント等が行われ、当県本部が事務局を務める群馬県蒟蒻生産協会では、こんにゃくの種芋400袋を無料配布しました。テント前に行列が出来るほどの盛況で、多くの消費者へこんにゃくの魅力をPRすることの出来た一日となりました。

■子供たちの夢を応援

5月26日（日）、7月に行われる全国大会へ向けて「全農杯 平成25年度全日本卓球選手権大会 群馬県予選」が行われました。当県本部では、「ホープス（小学6年生以下）・カブ（小学4年生以下）・バンビ（小学2年生以下）の部」へ特別協賛し、入賞者への賞品としてゴロピカリ・こんにゃくセット・米粉かりんとうを提供。元気な子供たちの健闘を称えました。



野菜グルメの会 第16回初夏の野菜編
(5.29 WABIやまどり)



平成25年度群馬県小麦立毛検討会
(5.30 県内圃場)

旬の群馬県産野菜をPR!

5月29日(水)、キリンビールマーケティング(株)群馬支社がプロデュースしている群馬県産野菜を使用したオリジナル料理の試食会「野菜グルメの会」に、JAグループ群馬も後援団体として参加しました。当日の料理は野菜ソムリエの田村氏(ぐんま県央青果(株))が食材をプロデュースし、「WABIやまどり」の料理長が考案した創作料理全7品を試食しました。材料にはJA佐波伊勢崎の「新ごぼう」や「初恋とまと」など県内の旬の野菜が使われました。開発されたメニューは期間限定で一部を除き試食会後も同店で提供され(要予約)、消費者に群馬県産野菜の美味しさをアピールします。

小麦の安定生産に向けて協議

5月30日(木)、平成25年度産の本県小麦の生育状況を製粉会社等の実需者に直接視察してもらい、生産団体や行政を交えて意見交換を行うとともに、本県産小麦への要望を把握し、販売促進に寄与することを目的とした「平成25年度 群馬県小麦立毛検討会」が開催されました。この検討会は、県と中央会が主催となり、当県本部協力のもと行われ、参加者による県内圃場の作柄調査が行われました。

現地調査終了後は、検討会が開催され、「群馬県産小麦の取り組み状況について」「群馬県産小麦への要望等について」の議論が行われました。

最高の一台を見つけよう!

アグリマシンフェア2013開催!

魅力とやりがいのある群馬の農業生産振興を目指して…。

アグリマシンフェア 2013

第37回 農業機械大展示即売会

同時開催 JA全農ぐんま 自動車展示会

日 時 平成25年7月13日(土)・14日(日)
9:00 ~ 16:00 (雨天決行)

主 催 JA・JA全農ぐんま

お問合せ JA全農ぐんま 農業機械課 TEL 027-220-2312

最新の農業機械が勢揃い!!
皆様のご来場を心よりお待ちしております。



▲「アグリマシンフェア2012」会場の様子

資産デフレ・大增税時代の相続対策・
資産活用をお考えの方のための

資産管理セミナー 参加者募集!!

相続対策はどの
ように考えたら
いいんだろう?

平成27年から相続
税等が改正されるが
どれくらい増税にな
るんだろう?

これからの資産活用は
どのようにしたらいい
んだろう?

日 時 平成25年7月1日(月) 午後1時30分～4時30分

会 場 JAビル10階 第4会議室 前橋市亀里町1310番地

内 容

●第1部 (午後1時30分～3時30分)

『資産管理セミナー』

テーマ "大增税時代を生き残る!
資産対策3つのポイント"

- 1.平成25年度税制改正
(相続税、贈与税、所得税)のポイント
- 2.大增税時代を生き残る資産対策3つのポイント

株式会社 日本資産総研ワークス
取締役 ソリューション事業部

やまなし じゅんいち
講 師 部 長 山 梨 純 一 氏

●第2部 (午後3時40分～4時30分)

『土地活用個別相談会』

講師紹介

やまなし じゅんいち

山 梨 純 一 氏

- ・株式会社 日本資産総研ワークス
取締役 ソリューション事業部 部長
- ・昭和44年生まれ
- ・相続、資産対策、有効活用をはじめ、M
&A、企業再生、事業承継に至るまで、
数々の実践に基づくコンサルティング
は依頼者から高い評価を受けている。
幅広い分野に対応したオールラウン
ダーとして定評がある。
また、各種セミナーの講師としても活
躍中。

対 象 者 JAの組合員とその家族

定 員 80名(申込順)

参 加 費 無 料

申込方法

(予 約 制)

参加をご希望の方、ならびに当日の資料をご希望の方は、**6月27日までに**
JA全農ぐんま 施設住宅課(Tel 027-220-2294)まで、電話でお申し込み下さい。

※お申し込みいただいた個人情報、今回のセミナー出席者の取りまとめ、ご依頼への対応とJA及びJA全農ぐんまから後日、連絡を
とらせていただく目的で利用いたします。その旨同意いただいたうえで、お申込み下さい。

■主 催

JA全農ぐんま 施設住宅課 Tel 027-220-2294

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

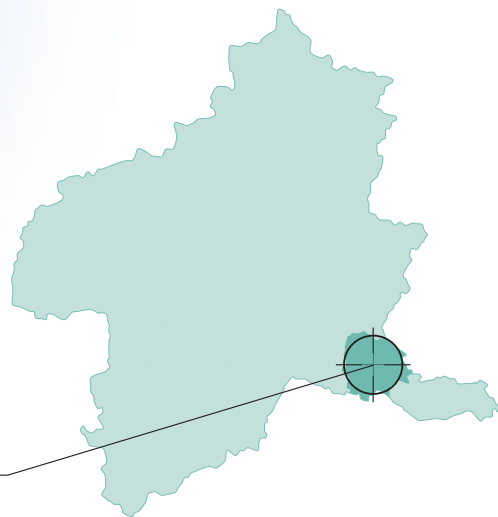
番組名/提供	放送日 ※再放送日	時 間
輝く! 群馬の農業男子 / JA群馬中央会	※ 6月30日(日)	AM 8:00～8:30
	7月 1日(月)	PM 9:00～9:30
地域密着を目指して / JAにっただみどり	※ 7月 7日(日)	AM 8:00～8:30



三隅 有里子アナ

農業 チャレンジャー

JA太田市



自らの体験を活かし 後継者へエール

JA太田市管内 松本 三津雄 さん



松本 三津雄(まつもと・みつお)さん

1968年生まれ、44歳。
小玉スイカ・ほうれん草を栽培。
スイカ部会副部会長を務める。
ハウス内面積：83a
趣味：パソコン
特技：砲丸投げ

きっかけは農業への好奇心

今回のチャレンジャーは、小玉スイカのブランド産地である藪塚地区で活躍する松本さんです。非農家に育ち、高校を卒業後は会社員として働いていたという松本さん。就農のきっかけを伺うと、「19歳の時、結婚を機にスイカ農家に婿入りしました。それまで農業とは無縁でしたが、単純に『面白そうだな』って思ったんです。定年がなく、好きなだけ働けることも魅力でした。しかし、実際は厳しいもので、就農当初は右も左もわからず苦労しました。『とりあえず3年間頑張ってみよう』と思えたのは、家族や周囲の農家さんたちの支えがあったからです。」と当時を振り返ります。

全国で認められたことに自信

松本さんに転機が訪れたのは、就農4年目の時。「全国農業青年交換大会の演説発表部門で素晴らしい賞をいただいたんです。このことがきっかけで、農業を自発的に学ぶようになりました。それからですね、面白さがわかってき

たのは。」と松本さん。ベテランとなった今では、家族と共に小玉スイカ「ひとりじめ」を栽培しています。今の時期は収穫・箱詰め・出荷・交配・整枝作業が主な仕事だそうで、一玉一玉丁寧に育てているそうです。甘くて美味しい自慢の小玉スイカで、多くの人を笑顔にしたいと話します。

後継者を育て、次世代へ繋げるために

後継者として就農を決意した息子さんへの思いを伺うと、「幼稚園の頃から農業をやりたいって言うていたんです。後を継ぎたいと言われた時は本当に嬉しかったですね。息子にも『まずは3年間頑張ってみろ』と話しました。仕事を覚えていく中で、目標を立て、それに向かって努力して欲しいです。また、安定した状態で息子に引き継げるよう、規模拡大を視野に入れた計画的な生産を行っていきたいですね。」と話してくれました。

家族がいて仕事がある、そんな当たり前の毎日に幸せを感じるという松本さん。暖かな笑顔と後継者への熱い思いが印象的でした。



- 1 栽培技術や農業機械に関する知識習得に励み、試行錯誤を繰り返す毎日。
- 2 農業の魅力は「3食昼寝付き」と笑顔で話す松本さん。安定し、気持ちにも余裕がある農業が理想だそう。
- 3 丁寧に箱詰めされ、消費者の元へ。
- 4 収穫を待つ小玉スイカ。出荷は7月末頃まで。



がんばってまーす!

INTERVIEW

JAはぐくみ
経済部 生活課（生活センター）

荒井 篤さん

Profile

あらい あつし（31歳）

趣味.....スポーツ・音楽鑑賞

好きな食べ物.....魚・チョコレート

嫌いな食べ物.....特になし

●職場の皆さんから見た荒井さん

「真面目で優しいですね。頼りがいがあるので、後輩たちからも慕われています。運動神経も抜群で、彼のジャンプ力は本当に凄いです!!」

「組合員さんからの『ありがとう』に支えられています！」

——どうしてJAで働こうと思ったのですか？

地元に貢献出来る仕事に就きたかったからです。

——現在の仕事内容を教えてください。

生活課で葬祭業務を行っています。組合員さんと葬祭専門業者の間に入り、滞りなく葬儀が行えるようサポートしています。また、生活関連商品の推進なども行っています。

——以前はどのような仕事をしていたのですか？

入組当初は肥料・農薬担当をしていました。その後、ガス・燃料担当を経て現在に至ります。葬祭担当になって今年で2年目。この仕事は特殊かつ繊細です。突然の出来事にも瞬時に対応

しなければなりません。まだまだ、毎日が勉強ですね。

——現在の仕事に対する思いを聞かせてください。

「人生の最後に立ち会う」というのは、とても重大なことです。気も張りますし、プレッシャーもあります。それゆえに、組合員さんから感謝の言葉をいただいた時は本当に嬉しいですね。これからも、組合員さんのために役立てよう頑張っていきたいと思います。

——運動神経が良いと評判ですが、何かスポーツをされていたのですか？

中学では陸上を、高校ではサッカーをやっていました。今でもスポーツは大好きで、フットサル・スノーボード・テニ

スなどを楽しんでいます。

フットサルに関しては、兄が所属している社会人チームに入れてもらい、一緒にプレーしています。

スポーツを通して身についたフットワークの軽さが、仕事にも活かされているんですね！荒井さん、お忙しい中ありがとうございました。

▼車に常備しているというスポーツグッズを見せていただきました☆



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は5月24日に4月の牛乳乳製品統計を公表した。4月生乳生産量は65万0,222tで前年同月比0.1%の増となった。北海道は32万8,639t（前年同月比1.0%増）で生産量の全国シェアは50.5%となった。

都府県の生産量は32万1,583tとなり、前年同月比で0.8%減少した。

■販売及び乳製品情勢

4月の用途別処理量は、牛乳等向けが32万4,209t（前年同月比1.1%減）、乳製品向けが32万1,246t（ $\uparrow$ 1.4%増）となった。

飲用牛乳等生産量は28万4,476kl（ $\downarrow$ 2.2%減）で前月から0.5ポイント増加し、内牛乳が24万5,670kl（ $\downarrow$ 0.6%減）、さらに乳飲料は10万8,665kl（ $\uparrow$ 3.4%増）で前月より4.6ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

（単位：t、%）

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月
生乳生産量	全 国	644,121	594,620	664,447	650,222		
	群馬(委託実績)	18,743	17,425	19,910	19,599		
用途別処理量	本会(委託実績)	5,725	5,354	6,125	6,558		
	飲用牛乳等向け	320,541	301,201	320,571	324,209		
	乳製品向け	318,662	288,565	339,160	321,246		
	その他向け	4,918	4,854	4,716	4,767		
前年対比	生乳生産量(全国)	99.7	96.8	99.7	100.1		
	〃(群馬)	99.2	95.5	99.5	100.1		
	〃(本会)	97.3	93.2	96.1	105.7		
	飲用牛乳等向け	98.5	93.2	98.0	98.9		
	乳製品向け	101.0	100.9	101.4	101.4		
7月		8月	9月	10月	11月	12月	計
							2,553,410
							75,677
							23,761
							1,266,522
							1,267,633
							19,255
							99.1
							98.6
							98.1
							97.2
							101.2

肉牛情勢

肉牛枝肉相場（6月予想）

素牛不足を背景に国内出荷頭数が減少しており、高値維持の見通し。量販店が輸入肉を重視すれば国産需要が減退する可能性もある。

肉牛枝肉相場（予想）

和牛去勢A5 2,160円中心
和牛去勢A4 1,900円中心

和牛去勢A3 1,750円中心
和牛去勢A2 1,430円中心
交雑去勢B5 1,690円中心
交雑去勢B4 1,390円中心

交雑去勢B3 1,200円中心
交雑去勢B2 1,100円中心
乳牛去勢B2 740円中心

枝肉価格の推移（群馬県食肉卸売市場）

（単位：円/kg、税込み）

年・月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計
和牛去勢A4	24年	1,551	1,467	1,537	1,604	1,641	1,665	1,629	1,590	1,649	1,682	1,776	1,867	1,638
	25年	1,695	1,750	1,785	1,749	1,829								1,762
	前年格差	144	283	248	145	188								123
和牛去勢A3	24年	1,314	1,230	1,334	1,393	1,482	1,476	1,445	1,349	1,419	1,495	1,592	1,707	1,436
	25年	1,585	1,615	1,633	1,627	1,717								1,635
	前年格差	271	385	299	234	235								199
和牛去勢A2	24年	1,018	1,066	1,153	1,233	1,340	1,315	1,249	1,187	1,238	1,376	1,385	1,466	1,252
	25年	1,180	1,419	1,479	1,508	1,472								1,412
	前年格差	162	353	326	275	132								159

群馬県食肉卸売市場上場頭数

（単位：頭）

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計
24年	1,042	932	1,294	1,270	845	1,167	1,467	1,406	1,383	1,336	1,887	1,668	15,697
25年	1,000	1,123	1,025	1,236	929								5,313
前年増減	▲42	191	▲269	▲34	84								▲10,384

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格（乳去）260～300kg 417円/kg（前月比105.0%）
②F1価格（去勢）250～300kg 943円/kg中心（雌）250～300kg 896円/kg中心
③和牛子牛（去勢）512千円中心（前月比99%）（雌）429千円中心（前月比100%）

養豚情勢

枝肉相場関係

株群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
23年(A)		400	473	463	477	460	537	509	473	431	351	384	436	450
24年(B)		390	393	388	397	420	479	443	468	425	365	358	418	412
25年(C)		363	390	404	450	499								421
(B-A)		▲10	▲80	▲75	▲80	▲40	▲58	▲66	▲5	▲6	14	▲26	▲18	▲38
(C-B)		▲27	▲3	16	53	79								9

豚肉価格形成要因

株群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間頭数
と畜頭数	24年	43,106	42,665	43,703	41,308	41,048	37,617	38,294	38,608	37,444	46,194	47,808	46,869	504,664
	25年	45,435	40,085	41,826	42,393	40,315								210,054
前年比(%)		105.4	94.0	95.7	102.6	98.2								41.6

肉豚生産出荷予測（全国）

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	1月	2月	3月	1～3月	4月	5月	6月	4～6月	7月	8月	9月	7～9月	10月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,448	1,337	1,386	4,171	1,447	1,398	1,300	4,095	1,350	1,349	1,352	4,051	1,540
前年同月比(%)		104	97	97	99	105	100	100	101	103	101	106	103	101

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、6月の出荷見込頭数は1,300千頭（前年同月比100%）となっている。その後は7月1,350千頭（〃103%）、8月1,349千頭（〃101%）と予想されている。昨夏の猛暑の影響で出荷頭数が減少し、相場は強もちあいの展開となる。また、円安や通関業務の厳格化を受けて加工向け輸入冷凍品が減少傾向にあることも上げ要因となっている。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

13年6月160円（見込み） 99%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
24年(A)		149	185	178	182	168	161	160	157	176	193	209	230	179
25年(B)		171	190	175	172	164								174
(B-A)		22	5	▲3	▲10	▲4								▲5
全国基金	24年	24.3	4.104	15.318	12.987	20.88	24.3	24.3	23.886	9.648	0	0	0	
補填	25年	18.999	0	9.774	15.714	21.645								

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：5月の平均単価は164円（前年同月－4円）と前年同月を下回り、平成24年6月～平成25年5月期平均は180円（前年同期比－1円）であった。

■出荷動向：価格低迷を踏まえ、老鶏の淘汰を促す空舎延長事業が5月13日より発動したため、出荷量は減る見通し。

■需要動向：5月の大型連休の消費不振が尾を引き、需要が鈍い。気温上昇や梅雨入りが早まったことも追い打ちとなり、弱含みの展開が続く見込み。

卵価要因

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
加工卵輸入実績(t)	24年	2,356	1,930	2,508	1,781	2,301	2,198	2,403	2,515	2,609	2,762	2,399	1,921	27,683
	25年	1,838	1,961	1,997										5,796
前年比(%)		78.0	101.6	79.7										20.9
餌付羽数(千羽)	24年	7,436	7,459	8,065	7,908	7,874	7,780	7,768	7,007	7,534	7,803	7,238	7,314	91,186
	25年	7,215	7,317	7,520	7,742									29,794
前年比(%)		97.0	98.1	93.2	97.9									32.7

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 21年:175円
(1) 15年:151円 (4) 18年:184円 (8) 22年:194円
(2) 16年:173円 (5) 19年:169円 (9) 23年:188円
(3) 17年:204円 (6) 20年:193円 (10) 24年:181円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

5月10日発表の米国農務省需給見通しによると、12/13年度産とうもろこしの需給については、供給面は前回発表から変わらず、生産量は10,780百万ブッシェルと据え置かれた。

需要面では、エタノール向けが増加したものの、輸出向けなどが減少したため、2百万ブッシェル減少し11,135百万ブッシェルとなった。この結果、期末在庫は759百万ブッシェルと前回発表から2百万ブッシェル増加し、期末在庫率は6.82%となる見通し。

13/14年度産は、干ばつの影響を受けた前年に比べ、単収の改善と収穫面積増加が見込めるため、生産量は前年比3,360百万ブッシェル増加の14,140百万ブッシェルとなる見通し。ただし、単収については、平年に比べ作付が遅れているため、2月のアウトLOOKフォーラムでの傾向単収と比べて、5.6ブッシェル/エーカー減の158.0ブッシェル/エーカーとなった。

需要面では、3月末以前と比較してとうもろこし価格が下落しているため、飼料向け、エタノール向け、輸出向けともに増加が見込まれており、前年比1,785百万ブッシェル増の12,920百万ブッシェルとなる見通し。この結果、13/14年度の期末在庫は前年から1,245百万ブッシェル増の2,004百万ブッシェル（在庫率15.51%）となった。

シカゴ定期は、需給緩和期待から相場は下落したが、今週後半の降雨予報から週明けには再び反発している。今後は本格的

な天候相場を迎え産地の天候に一喜一憂する展開が予想される。

米国産とうもろこしのFOBプレミアムは、天候相場でシカゴ定期が上下する中、堅調に推移している。

②大豆粕

5月10日発表の米国農務省需給見通しによると、12/13年度については、需給ともに変化はなく、米国国内の期末在庫は前回同様125百万ブッシェル、在庫率4.06%となった。

13/14年度の大豆需給見通しは大旱魃の影響を受けた前年に比べ、単収の改善が見込めるため、生産量は前年比375百万ブッシェル増の3,390百万ブッシェルとなる見通し。

需要量は搾油需要、輸出需要の増加の見込みから、前年比184百万ブッシェル増の3,264百万ブッシェルとなる見通し。13/14年度の期末在庫は前年比140百万ブッシェル増の265百万ブッシェル、在庫率は8.12%となっている。

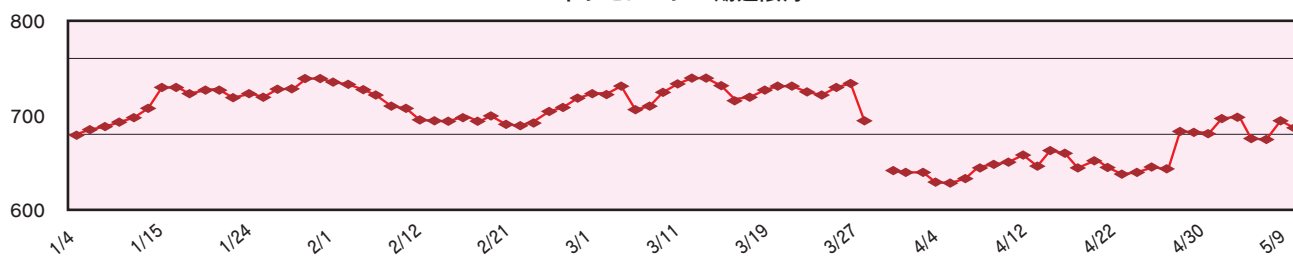
大豆粕のシカゴ定期は、4月初旬は390ドル台で推移していたが、現在は410ドル台となっている。

■海上運賃

米国ガルフー日本間のパナマックス型海上運賃は、5月の休暇明け以降、欧州向け石炭の荷動きが少ないこと、新造船竣工を含め、大西洋に船が多いことから、用船料、燃料ともに動きはなく、45ドル台半ばで推移している。

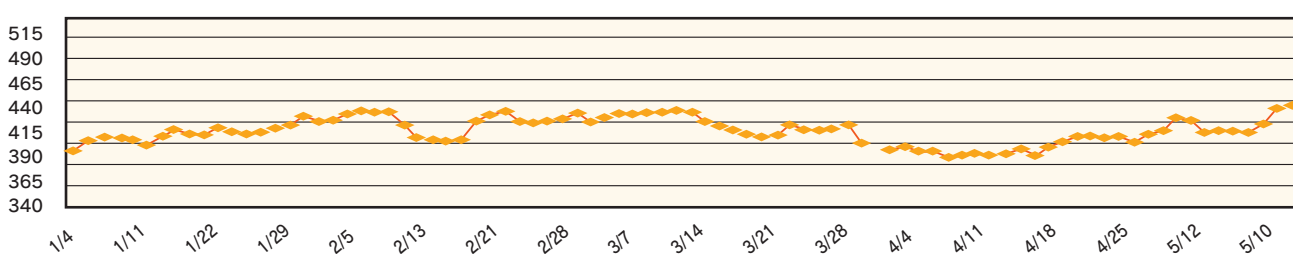
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



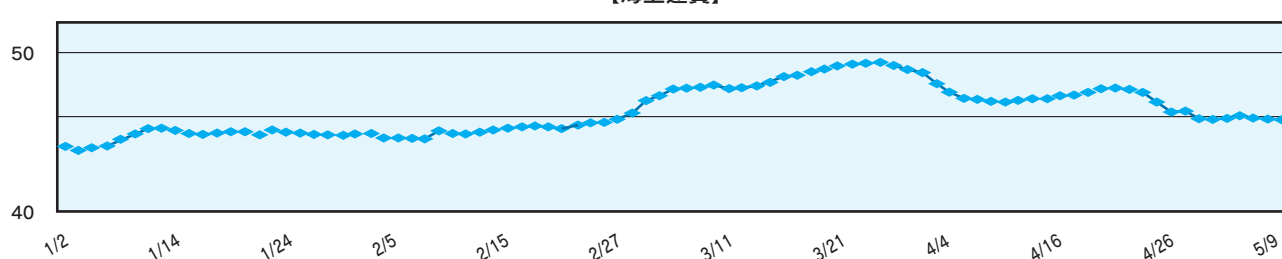
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

花木流通センターでは、家庭菜園を楽しむお客様に対し、各種講習会を開催しています。栽培講習会を始め、定植講習会や管理機の使い方講習会など、役立つ講習会は毎回大人気です！今回ご紹介する「秋冬野菜播種・除草剤講習会」では、ブロッコリー・キャベツ・白菜の播種方法と畑作除草剤について、講師が基礎から丁寧に教えます。是非ご参加ください☆



講習会の様子

7月の売出し・イベント案内

開催日	内 容
7月5日(金) ～7月8日(月)	夏の大売り出し
7月6日(土)	秋冬野菜播種・除草剤講習会 【参加費無料・申込み不要】
7月18日(木) 10:00～ 14:00～	寄せ植え講習会(各回20名まで) 【参加費：2,800円・ 申込先：ふらわーんど】
7月21日(日) 10:00～	寄せ植え講習会(20名まで) 【参加費：2,800円・ 申込先：ふらわーんど】

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花木流通センター

営業時間：年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～9月毎週火曜日定休)

取扱商品

- 園芸資材館/営農・園芸資材等
- ふらわーんど/鉢花、花苗等
- JA植木コーナー/緑花木、盆栽等
- エクステージ/外構・造園工事等
- ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等
- 外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先 TEL:027-220-2427 FAX:027-220-2424 前橋市亀里町1307-1

愛菜館

営業時間：毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

- 産直野菜
- 農産加工品
- 店頭精米等



お問い合わせ先 TEL:027-210-7788 FAX:027-210-9811 前橋市古市町106-1

グッドぐんまの旬の市



- 電車/東武伊勢崎線「浅草駅」より徒歩3分
- 地下鉄/東京メトロ銀座線「浅草駅」より徒歩3分

お問い合わせ先 〒111-0032 東京都台東区浅草一丁目34番4号 TEL:03-3844-0830 FAX:03-3844-0837

営業時間：毎週木曜日定休/AM10:00～PM18:00
土日は群馬県農畜産物のPRイベント、平日は県特産品の販売をしています。

旬の市7月のイベント案内

7月6日(土)	JA邑楽館林 新鮮野菜フェア
7月12日(金) ～15日(月)	JA甘楽富岡 切り花フェア
7月27日(土) ～28日(日)	JAたかさき・JAはぐくみ・JAたのふじ 高崎育ちフェア
7月27日(土)	隅田川花火大会 地酒フェア

※イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番
「県本部通信」係まで

E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp
※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立て

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



トマト&ミントジュレ

材 料

1人分

(1人前68kcal)

トマトジュレ

A	トマトジュース	1カップ
	水	100cc
	ゼラチン	5g
	砂糖	大さじ1
	レモン汁	大さじ1
	トマト	1個
	ラム酒	小さじ1

ミントジュレ

B	サイダー	300cc	水	大さじ3
	ゼラチン	5g	レモン汁	大さじ1
	ラム酒	小さじ1	ミント(みじん切り)	2g
	ミント(飾り用)			4枚

作り方

- 鍋にAの材料を入れる。
- トマトは粗みじん切りにする。
- 1を火にかけ沸騰寸前で火を止め、2とラム酒を加える。それを缶に流し入れ、粗熱がとれたら冷蔵庫で冷やし固める。
- 鍋にBの材料を入れ火にかけ、沸騰寸前に火を止め、ラム酒とミントのみじん切りを加える。それを缶に流し入れ、粗熱がとれたら冷蔵庫で冷やし固める。
- 3のトマトジュレをスプーンでかき混ぜガラスに入れ、その上から同様に混ぜた4のミントジュレをのせ、最後にミントの葉を飾る。

材 料

8個分

(1個分286kcal)

ビスケット	35g
きび砂糖	100g
薄力粉	250g
重曹	小さじ1
ドライトマト	3個
レーズン	30g
ドライ克蘭ベリー	25g
トマト甘納豆	50g
卵	2個
オリーブオイル	大さじ3
トマトジュース	70cc
ラム酒	大さじ1
アプリコットジャム	適量

作り方

- ビスケットを細かくすりつぶす。
- ボウルにきび砂糖を入れ、薄力粉と重曹をふり入れる。
- ドライトマトは熱湯をかけ柔らかくなったならみじん切りにする。
- レーズン・ドライ克蘭ベリー・トマト甘納豆は粗みじん切りにする。
- 2のボウルに1と3と4を加え卵・オリーブオイル・トマトジュース・ラム酒も入れよく混ぜる。
- 型紙に5を流し220℃のオーブンで18～20分焼く。
- 6のビスケットの上にアプリコットジャムをラム酒で伸ばした物をハケでぬる。

トマトソフトビスケット

